NAGASE
株式会社ナガセビューティケア

News Release
報道関係者各位

2026 年 11 月 24 日
株式会社ナガセビューティケア

宮城の地域資源から、新たな美の可能性を。
ナガセビューティケア研究員が「MIYAGI BEAUTY SESSION 2026」に登壇
～ローズマリーをテーマに、植物の持つ力と『宮城×コスメ』の未来を語る～

2026 年 11 月 5 日（木）、宮城県仙台市で開催された「MIYAGI BEAUTY SESSION 2026」に、株式会社ナガセビューティケア（本社：東京都中央区／代表取締役社長：鳥江孝治）の研究員がパネリストとして登壇しました。本イベントは、宮城県が推進する「MIYAGI BEAUTY PROJECT」の一環で、「宮城×コスメの可能性」をテーマに、地域資源を活かしたコスメ産業の未来について多様な視点から意見が交わされました。

植物の力を科学的に解明し、美容と健康に活かす研究開発に取り組むナガセビューティケアは、地域資源とコスメ産業をつなぐ本プロジェクトの理念に共感しています。今回の登壇では、当社の植物研究の知見を発信するとともに、宮城の地域資源が持つ新たな可能性について考える機会となりました。



MIYAGI BEAUTY PROJECT とは

宮城県の豊かな自然素材と、東北大学やナノテラスをはじめとする研究開発基盤を活かし、コスメ・健康関連企業との連携を通じて、新たな商品や産業の創出を目指す取り組みです。

Beauty（美しさ）・Bio（地域資源）・Business（産業・仕事）の 3 つの「び」を掛け合わせ、県内へのコスメ・健康関連産業の集積を進め、若者・女性にとって魅力ある仕事・雇用の創出につなげることを目指しています。

MIYAGI BEAUTY PROJECT 担当者コメント

私たちがこのプロジェクトに込めているのは、宮城の新たな魅力や可能性を掘り起こし、若者や女性が「宮城で働きたい」「宮城で新しいことに挑戦したい」と思えるような仕事や産業を生み出していきたいという想いです。

今回のナガセビューティケア様との出会いは、宮城の地域素材が持つ可能性を改めて実感する、とても貴重な機会となりました。企業が有する専門的な研究開発の知見と、地域の生産者が大切に育ててきた素材が結び付くことで、新たな価値が生まれることに大きな期待を感じています。

MIYAGI BEAUTY PROJECT では、こうした企業と地域との出会いを一つひとつ形にしながら、宮城ならではの魅力ある産業の集積につなげていきたいと考えています。

「MIYAGI BEAUTY SESSION 2026」開催レポート

当日は「宮城×コスメの可能性」をテーマに、コスメ関連企業や大学研究者、県内女性起業家、アイドルグループ「いぎなり東北産」の吉瀬真珠さんら 6 名がパネリストとして登壇。専門的な知見と若い世代の感性を交えながら、宮城の魅力やコスメ産業の可能性について語り合いました。トークセッションは Beauty（美しさ）・Bio（地域資源）・Business（産業・仕事）の 3 つの視点から展開されました。ナガセビューティケアの研究員は、特に Bio（地域資源）のテーマにおいて、宮城の自然素材と企業との出会いから生まれる可能性について紹介しました。

【ざおうハーブのローズマリーに着目。地域素材の化粧品原料としての可能性を探る】

植物の持つ力を美容と健康に活かす研究開発に取り組むナガセビューティケアは、長年ローズマリーの研究を重ねてきました。
今回のトークセッションでは、これまでの研究知見を交えながら、宮城の地域素材が持つ化粧品原料としての可能性について語りました。当社では、国内外のさまざまな産地からローズマリー原料を調達し、用途に応じて使い分けています。近年は、消費者ニーズの高い国産・農薬不使用のローズマリーにも注目しています。
そうした中、2026 年 7 月に参加した「宮城コスメ・健康関連素材ツアー2026」で出会ったのが、宮城県蔵王町のハーブ生産者「ざおうハーブ」です。研究員は、農園を訪れた際の印象について、次のように振り返りました。

「東北は寒く、雪も降る中で、ハーブをハウスに入れて育てているのがとても興味深かったです。ざおうハーブ農場で見たローズマリーは、緑が鮮やかで本当に美しかったですね。」

また、ローズマリーの鮮やかな美しさだけでなく、丁寧に手入れされた農場の様子から、生産者の方々が日々愛情を込めてハーブを育てていることも感じたといいます。従来、ローズマリーの栽培には温暖で乾燥した地域が適していると考えていましたが、同農場のハウス栽培を実際に見学したことで、東北・宮城県にも新たな産地としての可能性を感じました。気候変動による栽培環境への影響が懸念される中、宮城でのローズマリー栽培にも新たな可能性を見い出しています。



ローズマリーについて語る
ナガセビューティケア横野研究員

★「ざおうハーブ」×ナガセビューティケアの紹介動画
https://youtu.be/HBGwE-OCaVE

【宮城の地域素材から、新たな商品と産業の可能性へ】


「ざおうハーブ」農場を訪問

ローズマリーは、栽培環境や品種によって含まれる成分が異なります。今後はざおうハーブのローズマリーが化粧品や健康食品の原料としてどのような特性や適性を持つのかを見極めるとともに、さまざまな品種の栽培試験にも挑戦していきたいと考えています。
こうした取り組みを通じて宮城の素材が持つ新たな魅力を引き出し、将来的にはナガセビューティケアの商品開発への活用も視野に入れながら、ハーブの魅力や宮城素材の可能性をより多くの方に知っていただけるよう、探求を続けていきます。
今回のトークセッションでは、当社をはじめ、さまざまな立場の参加者が宮城の地域資源に着目し、地域の生産者と企業、研究機関などが連携することで生まれる新たな可能性について意見を交わしました。それぞれの知見や強みを掛け合わせることで、宮城発の新たな商品や産業が生まれる可能性が広がっています。
ナガセビューティケアは地域との連携を大切にしながら、今後も地域素材を活用した新たな商品づくりの可能性を探っていきます。

【開催概要】

イベント：MIYAGI BEAUTY SESSION 2026
開催日時：2026 年 11 月 5 日（木）16:00～18:00
会場：仙台 AER 6F
参加費：無料・事前申込制
定員：100 名（抽選）
対象：大学生・専門学校生、コスメ・美容に興味のある方、コスメ・健康関連企業、県内事業者・生産者など

◆ナガセビューティケアについて

ナガセビューティケアは、化粧品や健康食品のオリジナリティ溢れる商品開発力、高い品質、対面販売を通して多くのお客様との信頼、ご愛顧によって支えられ、今年創業 60 年を迎えました。対面販売事業では、美容と健康面における専門教育を受けたビューティコンサルタントが、お客さまの抱えているお悩みに寄り添い、スキンケア・メイク・健康・美容食品をご提案しています。商品やサービスだけにとどまらない、人の輪が広がる事業を核として「“キレイ”の力で、笑顔を広げる。」活動を通して、地域社会に根差した活動を行っています。

◆会社概要

株式会社ナガセビューティケア
会社所在地：東京都中央区日本橋小舟町 5-1
代表取締役社長：鳥江　孝治
電話番号（代表）：03-3665-3617
サイト URL：https://nagase-bc.jp/
事業内容：化粧品の製造販売・健康食品の販売業
資本金: 110,000,000 円

＜この件に関するお問い合わせ先＞
株式会社ナガセビューティケア
お問い合わせにつきましてはメール(pr@nagase.co.jp)へご連絡を頂けますようお願い申し上げます。
株式会社ナガセビューティケア　広報担当：及川、中澤（080-2525-1721）